

(様式)

第 4 回かわにし市民会議 議事メモ

班	3 班「住宅都市としての魅力向上」
コーディネーター	山根 晃
ナビゲーター	田端 和彦
説明担当者(自治体)	なし
日時	2019 年 8 月 24 日(土) 13 時 00 分から 16 時 00 分
場所	川西役所 4 階 庁議室
その他	参加者数 19 名

趣旨・概要

防災について
自治会について

総括

班発表者総括

自治会の存在意義がわからないといった意見があった。自治会がなにをしていて何のために活動しているかを知ることによって地域活動が活発になり魅力ある都市になると思う。川西市は高齢化が進んでいるので自治会として地域住民とのコミュニケーションを取ることが大切であると思う。

ナビゲーター総括

住宅都市として選ばれるための十分条件として地域での活動がある。その背景としてソーシャルキャピタル(社会関係資本)といった考えがあり、住民同士のネットワーク、ごけん制のある関係づくり、信頼性などのようなものが必要になってくる。住民同士と一緒に活動していく中で信頼関係・コミュニケーションが深まっていくものである。このような市民会議の場を同様になるかもしれない。こういうものが盛んな地域がロマンを生み出すかもしれない。

住民のみなさんが自分たちの目線で地に足についた議論ができるのが素晴らしい。市民会議のような市民の目線で地に足についた議論ができていないからイメージが暴走してしまう。今はネットが主流だがこういった場が民主主義の教育の場となるのではないかと、こういった場をもっと生かしてもらおうのがこれからの日本を支えていくひとつの基盤なるのではないかと感じた。

協議の流れ

1 第 3 回市民会議振り返り

コ) 意見のあった能勢電鉄の運賃について資料を確認するとともに、第 3 回を振り返る。
住宅都市としての魅力向上についてナビゲーターから説明いただき、コミュニティについて議論を深めていきたい。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

2 住宅都市としての魅力向上

(ナビゲーター 兵庫大学・兵庫大学短期大学副学長 田端 和彦氏より説明)

- ・住宅地が成立するためには、都心(働く場所)との分離と安全の問題の2つが必要条件となる。
- ・十分な広さを持った住宅を建築できること、歩車分離などの周辺環境の良さ、保育や福祉などの社会環境が十分条件となる。
- ・都心から遠いと交通費が高くなるが地価は安くなる関係性があり、バランスの取れるところで住宅地を選択する。通常は川西市ではなく、もっと都心に近い場所が選ばれるが、通勤手当があるので少し遠い川西市や三田市が選ばれる。退職して通勤手当がでなくなると交通費が高いと感じることとなる。
- ・マイカー通勤する場合も移動コストが安くなるため、遠方を選ぶ理由となる。
- ・空き家が多くないのは能勢電の運賃が高くないからで、本当に高くなれば空き家が増えてくるのではないか。
- ・阪神淡路大震災以降、減災の思想によりソフト的施策が必要で、地域の連携を強化する地域活動が大事。
- ・住宅供給数は少し増えているが、伸び率は減少している。増えもせず減りもせずという状況で、今ある住宅に長く住みたいという傾向が全国的にみえてくる。住宅都市である川西市もそうなる傾向が強くなる。
- ・長く住むとなると暮らしへの関心が高くなり、地域で自立した生活ができるように地域住民も大きな役割を果たす必要があり、住民参加が非常に大事となる。
- ・「地域共生社会」では住民が主役であるので、行政は地域に対してまとめてお金を出し、地域の自立を促すように補助をしていくことや、専門家を派遣するなど、専門的な役割をする。
- ・西はりまの例だが、遊具がなくても遊ぶことができるように、大学生等がプレイパークを運営している。
- ・病院がなくなる危機感を感じ、なんでもかんでも病院に行くようなコンビニ受診などを住民がやめ、病院を超多忙にさせないよう地域運動をはじめた。
- ・魅力発信の方法でも行政が魅力を発信してくださいでなくて、住民を映画に出演させ、住民で映画を作成した。こういった風に住民たちが主体となり魅力を発信する。
- ・地域住民によるボランティア型の移送サービス。(三田市)
- ・シンボルとなる井戸を掘ったり、日頃から住民同士でコミュニケーションをとっている自主防災組織。(加古川市)
- ・デベロッパーやURが開発した後、維持管理や運営などしなくなった後でも、エリアマネージャーを雇って、地域住民を巻き込むエリアマネジメントを行い、継続可能な仕組みを作る。(西宮市)
- ・NPO法人が住民組織を緩やかに結び付けるなど、地域住民同士による活動がみられる。(神戸市)

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

防災に関して

参) 地域のイベントに合わせて、新たに作りあげるのではなく、今あるものを利用しつつ
コラボさせていき、防災力の強化を図る。ハード対策はできているが、ソフト面は人
によって認識がずれている。

地域の発展については、民間の力で運営を進めていけばよい。ただし民間も対価がな
いと事業が進まないため、困難だとは思いますがそういった仕組みづくりができればよい。
自治会をそのようなものにすり替えるのは難しいかもしれないが行政にだけ頼るので
なく、民間の考えを取り入れて地域の活性化につなげていくことがこれから必要では
ないか。

コ) 開発当時はデベロッパーが活動するが、年数がたつとデベロッパーが運営に入ってく
る事例は少ない。民間の考えを取り入れるにしても市の役割を考えていかないといけ
ない。

自治会について

コ) 自治会の必要性と、皆さんのマンパワーを地域としてどのように役立てていきたいと
考えているか。

参) 自治会というのは権限と義務が曖昧であり、強制力が明確でない。権限のないものが
言ってもついてこない、専門知識がないものが決めても正しいことが分からない。組
織を正さないと入る意味がないものになるのではないか。

コ) 基本的な話だと自治会で行うことは法律にかかっているものでないし、契約で成り立
っているものではない。構成されているみなさんの話し合いで決めていくとなるが形
骸化している。

参) 自治会も法的な位置づけを定義する必要があるのでは。

参) 大和は成功している例だと思う。子育て世代は働いておりPTAも忙しいが、引退さ
れた方々が地域活動を支えていただいていると思う。自治体はコミュニティセンター
の管理を任されている。法的な位置づけがあるのでは。

コ) 足立区は小学校区単位の地域でコミュニティセンターの管理を委員会が請け負う形
で、地域の方々が運営にかかわっている。費用は区からでている。

参) 学校区ごとの組織が複雑になりすぎており、人と時間がとられる。少しでも仕事を減
らすため、牧の台小学校がPTA連合から脱退しようとした動きがでた。地域活動の
役割の明確化が必要ではないか。

コ) 活動の負担になることはあるか。

参) 自治会の役員になっているが、自治会が下り坂なのでどうしたらいいか色々考えてい
る。PTAも最初は嫌だと言うが、やってみると良かったと聞く。自治会は会費も高
く、掃除も嫌、若い人はやめる人が多いが、身近な情報が入ってくるし、他人事では
なく防犯のポスターやシールを貼るだけでもいいのでみんなが役割を持っていれば愛

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

着が沸き自治会が継続できるのではないか。なぜ自治会だけが公園の掃除をしているかなどの疑問はあるが、奉仕の気持ちが大事。

参) そもそも地域活動とはなにか。自治会は生まれた時からあったのでどのようにできたのか分からない。自治会があればなにがメリットなのか。掃除等デメリットしかない。自治会の廃品回収などはお金になると思うが、そのお金は何に使われているのか分からない。

自治会は何かのためにあるはずなので、自治会の目標を置いてほしい、曖昧すぎて分からない。

コ) 自治会のやることが多くなりすぎたのでは。昔は廃品回収はやってなかった。リサイクルを進めるために自治会に勧めた。

参) 自治会に入っていると会計の報告はあると思う。

参) そういった報告もあると思うが、曖昧が多く、自治会に加入するハードルが高い。若い世代はこういった考えが多いと思う。

参) どうやったらいいか、ここで話あって自治会に持っていきたい。昔は引っ越したら入るのは当たり前時代、自分だけ入らないのは考えられない。情報が無い時代なので先輩たちに聞いていた。今の若い人はすぐに辞めていく。

ナ) 歴史を振り返れば戦時中、配給制度は町内会がやっていた。戦後 GHQ が一旦廃止するが、その後復活している。ニュータウンが出来た時に行政がどうやって情報を提供しようかと考えた時に、そこに行政マンがつけば、人件費がものすごくかかる。そこでボランティア組織である自治会を法定外自治組織という位置づけにして、うまく活用したのが行政。仮に自治会がなくなるとどうなるかと考えた時、回覧板などを行政がやると人件費がどれだけかかるか、その分税金は少し上がるのではないかな。歴史的に考えると自治会を行政がうまく活用していると思う。なので、行政が自治会を活用しすぎるので仕事が増えるということだと思う。

コ) 増えているのは役所も一緒であり、昔やっていなかったことをやっている。工業化が進んだ結果として社会が複雑になったためだと思う。

ナ) 日本の自治体組織は住民の役に立つことだったら何でもできるので工夫して何でもやってきた。ただしお金に限りがあるので、住民の町内会を使った。行政が80年代以降、行政ができなくなったことをお願いしてきた。

コ) 市がやるとなると一辺倒になる。自治会は話し合いをしながら決めていくので自治会ごとで違うことができる。

参) 湯山台在住で、テレビの共聴アンテナは自治会が持っている。他の市や自治会ではそうではない。老朽化していたので更新費用が発生した。なんでもかんでも自治会がやらなければならないのか、このケースでは市は何もしてくれなかった。

コ) 共聴アンテナは自治体によってはあり得る話。どこが負担するか。

参) デベロッパーが当初持っていたが、自治会が買い取ってしまった。記録として残っていない。自治会も代替わりして、情報も伝達できていない。どのように運営していけばいいのか。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

- コ) 自治会が法人化していくとか。実際に法人化しているところもある。
- ナ) 任意組織は通常共聴アンテナを所有できないが、唯一例外的に所有できるのが自治会となっている。法人化はテーマを決めてやるが、自治会はテーマを決めにくい。余っている駐車場を別の組織を作って対応するというのはテーマ型といえる。
- 参) 自治会を活性化させれば、防犯、防災、空き家であったりと地域の活性化ということで魅力ある都市につながる。自治会については世代間によってギャップがあると思う。自治会はどうありたい姿があるべきなのか、皆さんに聞いてみたい。
- 参) 自治会に参加していない。一人暮らしの場合、倒れたときが心配。防犯カメラは抑止力があるので、市に設置して欲しい。また川西は交通の便は悪いと思わないし住みやすいまちだと思ふ。尼崎も昔は公害の町といわれていたが、今は住みやすい町といわれるようになった。かわにしも変わりたいなといった気持ちがある。
- コ) 自治会の組織とは空気のようなもの。戦前や戦後で自治会の役割は違うし、農村部と都市部でも違いがある。最初は互助組織という形が大きかったが、それがだんだん組織化されていくとやることが多くなっている。
- 参) 防犯の話だが、各家庭が門灯を消している。自治会の役員すら消している。防犯の意識をかためて、門灯ぐらい点けて欲しい。
- コ) 自治会で防犯の啓発活動について話すことはありますか。
- 参) 少ない。昔は近所の方がなくなった時は500円を集めて、組織の気持ちとしてもっていったが、4年ほど前から、葬儀が個人主義で無くなってしまった。
- コ) 世代間のギャップではないか。若い人とかはどう。
- 参) お金を出したい出したくないといった話ではなく、何を共有するのが大事。防犯の組織であり、そのために個人情報を集め、その管理はするといったものなら理解できる。自治会は0~100までやるが多すぎる、何かに絞って欲しい。
- 参) 自治会はたくさんやることがある、これをやるから恩恵がありますよという、明確に打ち出す必要があるのでは。
- 参) インターネットとかでは細かな情報が入ってこないのは確か。これを知るためには自治会に入ってなければならぬなどあればわかりやすい。村八分の話もあるが、人によっては孤立してもいいと思う人もいる。
- 参) 今はいつ誰が亡くなったか知らされない。地域とのつながりが感じられない。回覧板だけという感じ。
- コ) 入っていないと情報が得られない一方で、その情報がなくても生活に支障がないと話いうのもある。
- 参) こどもの情報が入ってこないのは困る。今の自治会の発信する情報とほしい情報が異なっている。
自治会を年代別で3つぐらいに分けてもいいのではないかと。
- コ) 住んでる方たちが、どんな情報が欲しいか、目的があつてそこに対して何をやるか、そこが明確になっていない。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

参) お祭りの時お菓子をくれるが、今の子が食べないような昔のお菓子が入っていた。自治会員とのズレを感じた。

参) 自治会に入っていない人も提出できる意見箱みたいなものを作るのはどうか。

参) 自治会にあるがアンケートの箱を作ったが利用する人は少ない。

230 世帯ほどの地区でほぼ全世帯が自治会に入っていたが、15 軒ほどコミュニティなど仕事が増えることを理由に辞めた。お金を払っていいから会長を雇って欲しいといった意見もでた。やめた方を自治会と関係ない市の行事に誘うが、自治会に入っていないから参加しにくいと言われた。通学路の旗当番のボランティアも少なくなってきた。

コ) この中で自治会(自主組織)があったほうが良いと思う人 9人

今のままだったらないほうが良い人 8人

新たに組織をつくる場がないと感じられているのかなと思う。

参) 230 世帯と 5000 世帯では人数のレベルが違う。大和は図書室も持っていて、行政がやることをほとんどできるのではと思っている。何もなかった住宅地からやってきた経緯がある。後から入ってきた世代も周りから支えてくれていてかわいがってもらえているので、自治会はあった方がよいと思っている。行政から権限が渡されていないから今の問題になっている。どういう権限を渡せるかというのを市の方で話し合う必要がある。

コ) 時代が変わってきているので変えていこうと話し合いはできているか。

参) まだ若い人が役員に就くなどはできていない。

コ) そうであれば入ってくる方たちのギャップはでてくるかもしれない。

ナ) 自治会のなかには分科会をもっているところもある。活発化しているところは、課題をたくさん持っている。それから、選挙で役員が交代しているところである。新しい考えでできているので活発化している。話し合いができる場を設けて機能しているところだと思う。ソーシャルキャピタル(社会関係資本)という考えで、これをするからこれをしてもらうという関係性がある。どうやってソーシャルキャピタルを高めるか。

コ) P T A の活動は学校を卒業すると話をする機会がなくなる。個人的には昔の婦人会のような話ができる場があってもいいと思うが今はそういった場が、地域の魅力としてあったほうがいいのか、なくていいのかという議論がある。ただし、全くないのは魅力につながらないでは。

参) 近隣住民と積極的に話をするので、安心して生活できると思うが、急に話はできないので、普段の掃除の時などに会話をしていけばよいのでは。掃除の目的を綺麗にするだけじゃなく、関わりを持つように周知していけばいい。

コ) 年を重ねて、経験して気づくこともある。PTA もやっているときは役をあてられて大変といった部分もあるが、いずれ必要なことはわかってくる。

参) 個人としては隣の人が亡くなっても何とも思わない。関係ないと感じる。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

コ) 今はニュースで取り上げられてピックアップされているが、孤独死は昔からもあった。本人が望んでいればそれでいいが、そうでなければ悲しいこと。

ナ) 亡くなったことに気づかない町は犯罪が起きやすい。気付ける町なら他の町に比べて防犯面でいいかもしれない。建物の建て方や町の構造で犯罪を防ごうという研究がされているが、それよりも人間の力の方がずっと大きい。

コ) 全く関心がないと、同じ地域で生活しているなかでは合意形成は難しい。

参) 近所付き合いがなければ亡くなった時など関係のない話だが、ご近所で助かったことがある。子育ての時にちょっとしたことで助けられたので返したいとは思いますが、自治会の責任は負いたくないのでジレンマがある。

参) 行政と地域の役割の違いが分からない。

コ) 明確に分かれているものではないので、それは個人で考え方が違うと思う。

参) 行政がある程度線引きすればいいのではと思う。

コ) これまでは全国一律でやっていたところがあるので、これからは地域も高度化していく。地域のことは地域でやっていく話になればが各地域によってやるレベルも変えられる。

参) 昔は自治会の方が放課後見守ってくれていたもので、この地域は安全だと感じた。家でも何かできないかと考えて防犯カメラを設置した。自分たちで何ができるかと考えるのが大事である。空き巣が入った時、自治会長さんが近所に情報を共有していたのはいいところだと思う。川西の魅力であり、川西に戻ってきた理由のひとつ。

コ) こういった話を行政が情報発信する方がいいでは。

参) 自治会に入っても意味がないと親から言われたので入っていない。地域と関わりがなく、地域に愛着が持てない、興味が持てない。興味がなければコミュニケーションも取れない。でも、自治会とは関係なく地域内のコミュニケーションを持つことは大事。個人主義の時代なので、自治会は利益がないと入らないと思う。

コ) 個人主義が進んでいるアメリカの都市でも自治会はある。議論する場と思ってもらえればいいですが、そういう考えのある人が集まらなると出来上がらない。

ナ) アメリカなどのコミュニティーリーダーは尊敬される。アメリカやヨーロッパなど意見を交わす場というのが民主主義教育の場となっている。小さな組織で民主主義を磨いてきているのがヨーロッパなどの強みで、日本はそういう場がないので、そういう場を作ることで、若い世代の方が民主主義の重要性に気づいてくれると素晴らしいことだと思う。

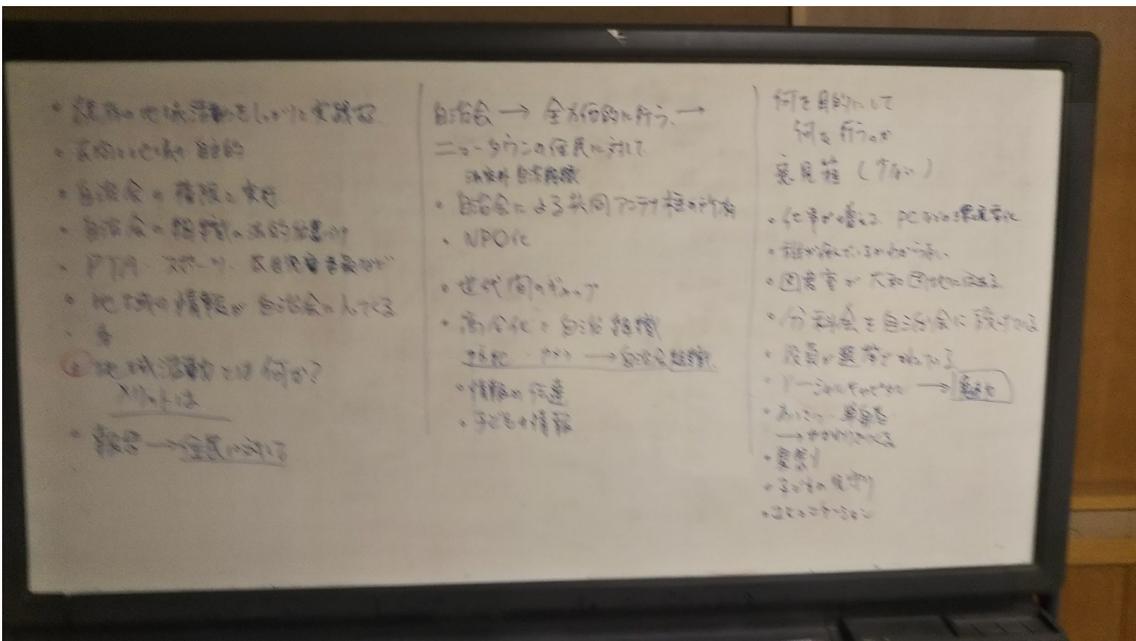
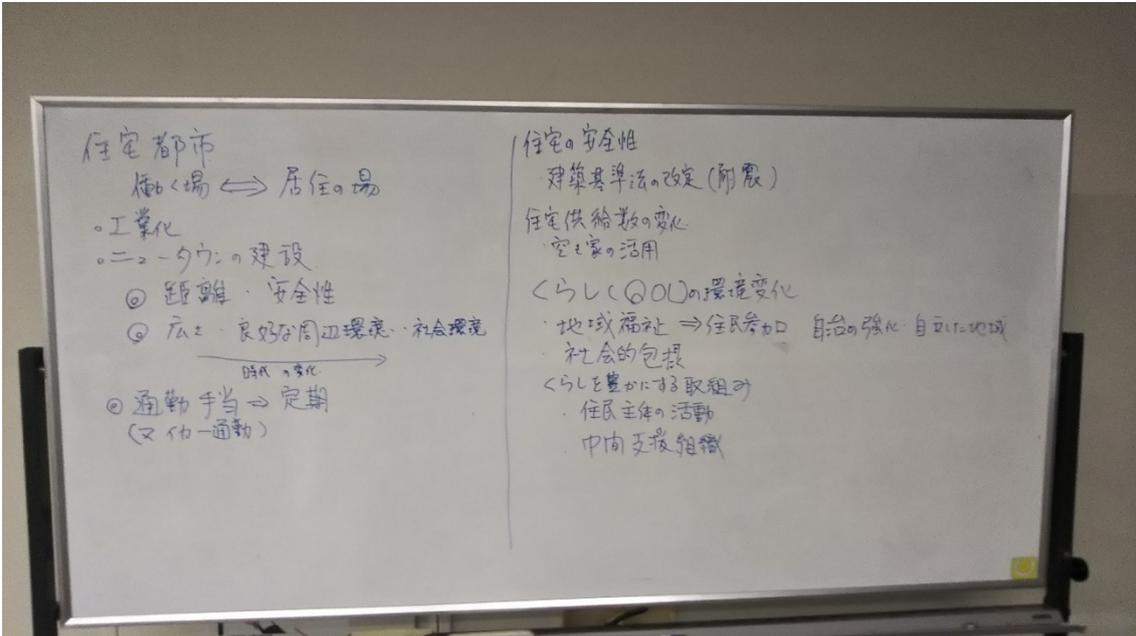
地域でなんらかの活動がないと住宅都市としての魅力がないのではないかと、これは皆さんの共通した考えだと思います。それが自治会なのか、それ以外なのか、考えていけないといけな。60年代には自治会に代わる組織が模索されてきた。70~80年代にはいろいろ作ってきたが、自治会は行政にとって便利なものなので残ってきた。自治会が民主主義の場、助成金の使い道を皆で決める場となれば、本当の意味で住宅都

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

市として、ニュータウンとしての魅力となるのではないかと思います。

ホワイトボードの写真



参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者